

消費税からみる日本の未来

野上 和紀

高市 聖也

目的：

2014年度から消費税が8%になることが決定したが、今後日本の未来がどのようなようになるのかを消費税という観点から考え自分たちなりに予想する。

分析結果：

このままだと将来的には今と同じレベルの社会保障が期待できるほどの財源の確保は難しい。命の価値を決めて社会保障の優先順位を付けることも視野に入れなくてはならなくなる可能性も考えられる。

結論：

命の選別という結果を避けるために国民一人一人がもっと社会の動きに興味を持って、日本の未来を真剣に考えて行動すべきである。